

# 就農事例

## 近藤雅彰氏 (株式会社土緑家)

(平成30年8月法人化)

調査日	平成30年7月(就農後6年目)
所在地	香川県観音寺市大野原町
経営主	近藤雅彰
主要事業	露地野菜
主要作目	レタス6ha ロメインレタス6ha 青ネギ2.5ha タマネギ2ha ブロッコリー4ha ニンニク30a 水稲6ha
就農タイプ	新規就農(非農家出身)
就農時期	平成25年
売上	6,700万円
労働力	家族 3名 常時雇用 4名 実習生 5名 臨時雇用 2名

## ヒストリーあらすじ

- ・近藤雅彰氏は他産業で勤めていたが、(株)中大 大西社長に誘われたことをきっかけに、平成22年から同社で働くことになった。
- ・雇用就農当時は特に独立したい気持ちがあったわけではなかったが、大西社長の下で働くうち、その人柄と生き方にあこがれ、就農2年目に独立して自分でやってみたいと思うようになった。
- ・実家を拠点とし、地域の方の紹介もあり初年度から80aの農地を借り入れすることができ、レタスを経営の主力として平成25年2月に経営を開始した。
- ・頼まれた農地は選ばない、条件が悪くても引き受ける方針で農地を借り入れしており、担い手が多い地域でありながら現在は8ha余りの農地を集積している。
- ・新たな知識を求めて、かがわ農業MBA塾第1期生となった。
- ・ロメインレタス拡大のため設立された、らりるれロメインぶきやい初代ぶきやいちょう(部会長)に就任し、地域内外での定着、産地としての確立に向け精力的に活動している。
- ・平成30年2月には認定農業者となり、同8月に株式会社土緑家(どりょくか)を設立した。

エッセンス	
●地域密着で消費者の立場に立った栽培	・自分や家族が食べられないものは売らない
●土緑家	・ <b>土</b> づくりに努力します。 ・ <b>緑</b> を守るため努力します。 ・ <b>家</b> 族・社員を守るよう努力します。
●地域とともに	・地域の人に認められるような人になりたい。 ・10年後も20年後も農地を守っていき、子どもたちにつなげていきたい。



ロメインカーと近藤社長



新設した作業場



ロメインレタスほ場



青ねぎ調製作業

# 近藤雅彰氏 ヒストリー

就農前	就農期 平成25年～	確立期 平成29年～	発展・将来展望
<p><b>●他産業で勤務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業をする考えは全くなかった。</li> </ul> <p><b>●大西社長との出会い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)中大へ就職(3年間)</li> <li>・特に農業に興味があったわけではなく、たまたま就職先が農業法人であった。</li> </ul> <p>元々経営者になりたい、独立したいの思いはあった。 従業員として働くうち、大西社長の人柄に惹かれ、自分でも同じようにやってみたいと思うようになった。</p> <p><b>●独立・自営就農に向けて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培技術だけでなく、経営管理についても学ぶように。</li> </ul> <p>独立に向けて、JAや関係機関から情報収集 大西社長も全面的にバックアップ 地域でも新規就農者や法人が増えていた。</p> <p><b>●認定就農者に認定</b></p>	<p><b>●平成25年2月独立・自営就農</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実家近くで農地を借り、経営開始</li> <li>・初年度は、レタス1ha、青ネギ30a、タマネギ20a、水稲1ha</li> </ul> <p>両親と3名で家族経営 近所の方がボランティアで手伝いに来てくれることも</p> <p><b>●常時雇用が増加</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・甥や兄弟が従業員として加わる。</li> <li>・外国人技能実習生も</li> </ul> <p>従業員が増え、規模拡大できる体制に 雇用費等運転資金が増大し、一時的に資金繰りに苦労することもあり、資金借入等で対応した。</p> <p><b>●新規作物(ロメインレタス)導入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊南担い手会で若手農業者が毎月自主的に勉強会</li> <li>・新規就農者が増え、法人の従業員も加わったことで、現在は50名程度となっている。</li> </ul> <p><b>●青年就農給付金(農業次世代人材投資事業)制度を活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼロからのスタートだったため、機械などから揃える必要があり、役に立った。</li> <li>・所得拡大により、早期に卒業</li> </ul>	<p><b>●急激な規模拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レタス10ha、青ネギ3ha、タマネギ70a、ブロッコリー6a、水稲1.5ha</li> </ul> <p>地域の若手や法人など、刺激を受けた。 頼まれた農地は条件が悪くても断らないを信条としており、地域の方から信頼され農地が集まってきた。</p> <p><b>●平成29年作業場建設</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の規模拡大を見越し、今必要であると思いついた投資</li> </ul> <p><b>●平成30年 農地所有適格法人株式会社 土緑家 を設立</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「土づくりに努力します。」「緑を守るため努力します。」「家族・社員を守るよう努力します。」が名前の由来</li> </ul> <p>就農当初から法人化はさらなる経営発展のために必ずするものと考えていた。</p>	<p><b>●目指せ中大!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初からのモットー</li> <li>・身近に目標があることがモチベーション向上につながる。</li> </ul> <p>規模などの経営面はもちろんのこと、地域との関わりなども</p> <p><b>●ロメインレタスの日本一の産地に</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での作付総面積は現在30ha。5年後は100haを目標</li> </ul> <p><b>●労務管理を強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・兄弟等が従業員として参画していることが、心強くもあり、難しい面もある。</li> <li>・就業規則の整備など、労働環境を整えることで、それぞれが働きやすい職場に</li> </ul> <p>かがわ農業MBA塾で学んだことも活かしながら取り組む。</p> <p>・地域の人に認められるような人になりたい。 ・10年後も20年後も農地を守っていき、子どもたちにつないでいければ。 ・地域の仲間と競争しながら、地域を活性化させていきたい。</p>

近藤雅彰氏 <課題と対応策>

フェーズ		就農前	就農期 平成25年～	確立期 平成29年～	発展・将来展望
主な出来事		●3年間の農家研修	●家族3人での家族経営 ●借地による経営規模拡大	●認定農業者 ●作業場建設 ●法人化	●経営基盤の強化
経営課題	ヒト・組織	研修中に地域の方や若手農業者との交流を図る。	甥が従業員として加わる。 後に近藤氏の兄弟も	認定農業者 法人化	就業規則の整備
	土地・設備	農地や機械設備などほぼ一から揃える必要があった。	農地80a借入 設備投資 (株)中大から機械賃借	従業員が増えるにつれ、規模拡大 作業場建設	規模拡大
	カネ	就農までに	設備投資資金の調達 制度資金、補助事業活用	設備投資資金の調達	運転資金の安定確保
	技術・ノウハウ	農家研修で積極的に習得	収量・品質が安定しない。 新規作物導入		収量・品質の安定
	販売・販路	JA主体の出荷を想定	JA主体の出荷	JA主体の出荷	JA主体の出荷
	情報	研修先、JA、行政	豊南担い手会	かがわ農業MBA塾	
	地域	豊南地区 野菜産地であり、法人も複数	新規就農者増 同年代の仲間・ライバル	法人増加と規模拡大	ロメインレタスの日本一の産地に
	具体的内容 (課題の内容)	・栽培技術・経営知識の習得、農地・設備など、ほぼ無い状態からのスタート。	・急激に規模拡大し、従業員も増えたため、多額の運転資金が必要 ・天候の影響もあり、品質・収量が安定しない。	・従業員が増え、労働環境の整備が急務となる。	・地域の仲間とよい意味で競争しながら盛り上げていきたい。
対応策 (課題にどう対応したか)	・独立を決意してからは、栽培技術のみでなく独立・自営就農に必要な経営管理に関する内容も学ぶようになった。	・ほ場を見回り、徹底して野菜の顔を観察した。(株)中大のほ場も見回り、おかしいと思ったらすぐ聞くようにした。	・従業員の就業条件の整備などのために法人化。 ・従業員それぞれが適性に合わせて役割分担している。	・働きやすい職場環境の整備 ・独立希望者の受入	
外部環境	※	※毎年の異常気象	※	※	